



Change! 2022 ニュース

No. 33

Change! 2022 推進委員会 2022. 3. 15 発行

▼ 会員増強に思う

「 YMCA を魅力ある団体に 」

東京YMCA総主事

菅谷 淳 (東京)



いつも東京 YMCA が大変お世話になっております。この紙面をお借りして感謝申し上げます。

さて、ワイズメンズクラブの会員増強に欠かせないのが、ワイズメンズクラブが支援して下さっている YMCA を魅

力ある団体にするという事です。そのためにはYMCAの会員増強も重要です。YMCAに関わりたい、活動したいという人がたくさん集まり、活気が出るとYMCAを支援しようというワイズのモチベーションも高まり、結果ワイズの会員も増えます。

では、YMCAの会員活動について、次年度の計画はどうなっているのでしょうか。会員部運営委員会や会員協議会、会員大会などで出された意見をもとに作成、承認された2022年度の東京YMCA会員活動計画を紹介します。

① 会費を支払う会員だけでなく、YMCAの使命に賛同し様々な形で協力してくれている支援者を仲間に加え組織化する仕組みを作り、YMCAの活動を地域に広める。

(解説) 会費を払うことが会員の絶対条件になっていますが、それを少し弾力的に運用してはどうかという提案です。これは創立以来変わらないYMCAの原理原則ですので、慎重に進めないといけません。しかしながら、会費を払う会員でなくてもボランティアとして加わって下さる方、専門的なアイデアや提案をして下さる方、寄付や募金をして下さる方など、YMCAをいろいろな形で支援をして下さる方々をYMCA運動の担い手として仲間に加わっていただくことは可能と思います。

そのためには会費の見直しや会員の種類を増やすなど、現行の会員制度を変更する手続きが必要になります。

② 国籍や人種、性別や年齢、出身地や社会的地位、障がいの有無に関わらず、YMCAを訪れた人が誰でも参加できる運動や活動の数、種類を増やし支援形態を整え、会員部や各部、地域活動コーディネーターが丁寧に対応することにより一人でも多くの会員やボランティアを獲得する。

(解説) 会員を増やす上で一番重要だと考えたのが、会員がYMCAでやりがいや、生きがいを感じられる場や活動があるかどうかということです。現在関わって下さっている会員の多くは、若い頃YMCAにお世話になったとか、YMCAに育てられた、たくさんの感動をもらったなど、素晴らしい体験、経験が根底にあります。自分が得られた感動や経験を他の人にも伝えたい、自分も困っている人がいたらYMCAを通して助けたい、支援したいなど、会員になった動機や目的が明確です。ところが事業化が進み、法制度も変わって会員の活躍する場、関われるプログラムが少なくなって来ました。これでは勧誘しても「会員になるとどんないいことがあるのか?」と聞かれてもうまく答えられません。そうなる前にYMCAの事業再編や組織改革が必要です。次年度はその大きな変化の第1年度目になる予定でいます。

③ 2022年度もコロナ禍が継続することを前提に、会員部の各種プログラムを工夫しながら、会員、職員が一つとなり実施していく。また、コロナ禍ならではの課題を見据えた新たな活動も検討していく。

(解説) YMCAは人と人、地域と地域のソーシャルディスタンスを無くす、あるいは小さくすることが目的です。いわば3密推進団体です。しかしながらコロナ禍ではそれがままなりません。ではあきらめるのか、そうではなく会員と職員が力を合わせて知恵を絞り工夫して形を変えながら計画を実行していくことが大切です。コロナ禍を理由に会員活動が停滞した、ではなく、コロナ禍のおかげでこんな新しい活動が生まれた、スマホア

プリによるチャリティーランなどはその典型と言えるでしょう。

④ 全ての事業部において職員は、東京 YMCA の使命や大切にしている価値を理解し積極的に発信することで、新しい会員やボランティアを発掘するという意識を持ち、高められるように育成する。

(解説) 国際問題は国際担当のスタッフへ、障がい児の問題は障がい担当のスタッフへ、学校は学校、保育園は保育園など、30 もの異なる事業を行っている東京 YMCA にはセクショナリズムが横行していました。今はだいぶ改善されてきましたが、目的別の事業部制に移行することで横並びの並列ではなく、YMCA の使命や目的に直結したプログラム運営が可能になり、わかりやすい団体、選ばれる存在になると期待しています。さらに新しい会員にとって、目的が明確になることで具体的な支援の形も明確になります。会員増強の担当、寄付や募金の担当だけが走り回って集めるのではなく、全員が自分の事業やプログラムの目的を理解し発信し、多くの人を巻き込み、全員が会員を勧誘し寄付や募金をアピールできる団体にしていきたいと思っています。

このように YMCA をわかりやすくし、魅力ある団体にすることでそれを支援して下さるワイズメンも増える、そして支援の幅が広がることで YMCA の運動や活動も広がっていく、ワイズと YMCA との善意のサイクル、相乗効果が起きることを期待しています。

《 菅谷 淳さんのプロフィール 》

1961年2月14日	新潟県燕市生まれ
1985年3月	早稲田大学政治経済学部卒業
1986年4月	東京YMCA入職
1998 - 2001年	TIFYYSクラブ担当主事
2001 - 2010年	とちぎYMCA総主事、宇都宮クラブ
2017年4月～	東京YMCA総主事、東京クラブ

▼ 東新部 EMC セミナー 報告

東新部 LT 委員長 伊藤 幾夫 (東京多摩みなみ)



2月12日(土)、13:30～15:30 オンライン (Zoom) で開催されました。今回のテーマは『Change! 2022 ラストスパート』として、会員増強のために、今年12月までに、各クラブ、各会員が何をどのようにしたらいいのかを共に考える場としました。参加者は

26名。

開会挨拶は東日本区理事・大久保知宏さん(宇都宮)と東新部部長・松香光夫さん(東京町田コスモス)にいただきました。オンラインということで、参加者には画面の自画像に名前とクラブ名を入力していただきました。

今回のセミナーの発題者3名は、東新部 LT 委員長の伊藤幾夫 (Change! 2022 推進委員、東京多摩みなみ)、東新部次期部長の深尾香子さん(東日本区地域奉仕・YMCA サービス事業主任、Change! 2022 推進委員、東京多摩みなみ)、東新部次々期部長の城井廣邦さん(東新部地域奉仕・YMCA サービス事業主査、東京むかで)でした。

伊藤は「Change! 2022 プロジェクトの振り返り」と題して、直近5年間の東新部の会員動向、そして現在の各クラブごとの会員平均年齢および年代分布を示しました。会員が減少し、年齢が高くなり、本来ワイズの魅力であるはずのクラブ活動の停滞状態が数字的にも明らかにされました。

深尾さんは「見つけて、つながって、良くなりたい? 我らが東新部」と題して、以前と比べて自分&クラブのパワーは、5つの項目:健康、人脈、時間、お金、地域課題への興味関心がどう変化しているのかを問い、その上でできることは何かを考えようと訴えました。

城井さんは「ワイズチャンス」と題して、クラブが魅力的な活動をすることによって、社会からの関心を高めることができ、それが会員増強につながる。具体的な活動の例として、東京多摩みなみクラブの「プランター講座」を紹介されました。

そのあと、4グループに分かれて約15分間討議が行われ、再び全体会に戻り、各グループの報告が行われました。本日のセミナーのまとめを東日本区 Change! 2022 推進委員長の栗本治郎さん(熱海)にいただきました。



【Zoomで行われた東新部EMCセミナーの様様】

▼ ワイズ・ナイトフォーラム

「第4回ワイズ・ナイトフォーラム 第1部報告」

地域奉仕・YMCAサービス事業主任

Change! 2022 推進委員

深尾 香子 (東京多摩みなみ)



第4回フォーラムは、2月26日(日)20:00～21:45 オンライン(Zoom)で開催されました。

第1部の卓話で、話者の山田公平さん(宇都宮)は『YMCAとワイズ～Win Winの関係に～』と題して、YMCAの活動の原点は「社会がどう見ているか、どんな期待をしているか、ということを知り、そのニーズに応えようとしているのだ。ということから話しを始められました。それによると、(ざっくり言うと)ワイズはYMCAに対して、2つの役割を担う事が出来るようです。

対象はYMCAスタッフとユースリーダー。前者は、団体を守っていかなくてはならない立場にいる人たちですので、「日本YMCA中期計画」等に見られるように、既にいくつもの提案が出て進行しています。ワイズは現役の社会人またはそのOB・OGですから、これらをよく読み、理解して、自らが持つ知力と経験を提供するというイメージが出来ると思います。

一方、後者は若い人たち。彼らには、YMCAによる個々の事業へボランティアとして参加することに止まることなく、彼ら自身が社会に対する疑問や不安、不満を発信してくれることを期待し、ワイズはそれらに耳を傾けて、大人としてのスキルや人脈を提供出来れば、新たな一歩が築けるのではないかと、いう事です。

山田さんが多くの役職を経て出会って来たアジア各国、世界各地のユースリーダーは、日本のユースリーダーと比較すると発信の機会も内容も豊富で、本気でこの地球を自分たちの生きる場所として考え、その未来を希求しているのだそうです。



この卓話後、3月6日(日)にYYパートナーシップ委員会主催によってスタートした「ユース・アクション」は、こ

のお話から繋がる最初の挑戦です。ワイズはこれに、単に観客として喝采して終わるのでなく、自分たちも積極的に関わり、次の100年に繋げて行くことが期待されています。【写真上=卓話をする山田公平さん】

▼ 各部 会員増強事業主査より

「会員増強において考えるべきこと」

北海道部主査 重堂 幸恵 (十勝)



2020年1月に初めて日本におけるコロナ感染者が確認され、本年3月まで未だ終息が見えない状況が続いています。

それによりワイズメンズクラブの活動も制限され、一昨年とちか帯広で6月に行われる予定だった東

日本区大会と、本年2月に然別湖畔で予定されていた北海道部大会も、中止せざるを得ない状況になりました。全国の皆様にお会い出来ることを楽しみに、準備を進めていた当クラブの会員は基より、来道を予定されていた皆様には、大変残念な結果となりました。しかし、現在の感染状況では、まだ出口が見えてきません。

現在十勝クラブでも、例会や行事が中止になったり、ゲストをお招きすることなく、会員の近況報告のみに終わる日もあります。この状況下ではなかなか新たにメンバーを募ることは難しく、今現在のメンバーを減らすことなく、現状維持することに力を注いでおります。

十勝クラブにおいても、色々な職業、年齢の会員がおりますが、皆が遠慮せず何でも言えるとても良い雰囲気です。私はまだ会員になって日が浅い方ですが、クラブにおけるわからないことや、疑問に思う事柄に、丁寧に答えて頂けることにも、とても感謝しています。

北海道にある4クラブが、手を携えてこの困難な状況を乗り越えて行けますようにと願っています。また、とちか帯広の地で皆様をお迎え出来る日をお待ちしています。



【十勝クラブの山菜採り(上)とジャガイモ植え付け】

▼ 第6回 拡大EMC委員会 報告

会員増強事業主任 大川 貴久 (熱海)



日時：2022年2月24日(木)

19:00~20:30

場所：Zoom 会議 出席者：20名

《EMC事業委員会=委員長、委員、部長、会員増強事業主査、エクステンション委員長(EXT)》

11名、《Change! 2022 推進委員

会》8名、《オブザーバー》1名

【次第】

議事① 活動報告書の件

- ・活動報告書は、関東東部：5クラブ、あずさ部：4クラブ、富士山部：5クラブ、その他の部は0でした。
 - ・「動画で分かるワイズメンズクラブ」の1月のアクセス数は、熱海=20、東京世田谷=12、甲府21=8 がトップスリー。その他10クラブで各1~2回、合計63回でした。
- 初回から1月までのアクセス数：924回、平均滞在時間1分45秒、動画再生回数326回です。

議事② 各部からの報告

北海道部：オミクロンの影響で、ほとんどのクラブがリアルで例会が開催できない。札幌クラブはリモートで開催、北見クラブは新年例会をリアルで開催しました。

北東部：次期の事業主査はほぼ決まり、各クラブでは会長が続投するクラブが多いが、まだ2クラブの会長が未決定。部長は2期(次期と次々期)連続で行う。

関東東部：132名で始まり、現在134名。オンライン例会でも良い卓話者呼んで、卓話に興味がありそうな人を招待し、ワイズに興味を持ってもらい、入会までの道筋を作る。EMCの集いを4月2日(土)に開催。

東新部：84名で始まり、現在82名。新潟と新宿にクラブを作りたい(詳細はニュース31号)。「東新部 EMC セミナー」を2月12日に開催、出席者は26名。(詳細は、ニュース本号2ページに掲載。)

あずさ部：会員は171名。第2回評議会後には「持続可能な社会に向かって身近なところからSDGsを」と題して、上條直美・開発教育協会理事の講演会開催。

エクステンションでは、「甲府やまなみクラブ」が今年度末にチャーター予定。「文京アフタヌーンクラブ」は設立に向けて活動中(詳細はニュース31号)。

湘南・沖縄部：会員数は83名。エクステンション委員会は2クラブの設立を目指す。①横浜 YMCA の保育園の関係者を中心としたクラブ。②沖縄に沖縄那覇ク

ラブの再建をしたい(詳細はニュース31号)。

富士山部：151名でスタートしたが現在150名。部内クラブでは、オミクロンの関係でほとんど例会等も開催なし。オンライン例会・役員会開催が中々上手くいかない(パソコンが使いこなせない又は持っていない)。

議事③ ワイズ・ナイトフォーラムの件

- ・第1回から3回までが好評だったので、引き続き2月、4月、6月と3回行うことに決定。今回は開催日を日曜日から土曜日に変更して開催します。
- ・第4回のナイトフォーラムは2月26日(土)20時から開催。卓話は山田公平・次々期理事(宇都宮)による『Y's×SDGs Youth Action 2022 について』。第2部はあずさ部によるパネルディスカッション。
- ・『動画で分かるワイズメンズクラブ』カードの活用状況が悪いので、是非カードを活用、会員増強して下さい。

次回開催は2022年4月28日(木)19時

▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任 大川 貴久 (熱海)

2月には、下記の方が入会されましたので報告します。

No.	新入会者	(クラブ名)	紹介者
1.	伊藤 江理夫	(東京多摩みなみ)	伊藤 幾夫
2.	池上 宗遠	(甲府)	宮川 真有
3.	赤澤 奈美	(甲府21)	萩原 美鈴
4.	野辺 良一	(横浜つるみ)	久保 勝昭

《入会候補者向けにワイズの魅力を紹介！》

ワイズ・ナイトフォーラム

第5回 4月16日(土) 20:00~22:00 Zoom

卓話者：江夏一彰さん(東京武蔵野多摩)

日本聖公会司祭・多摩総合医療センター医師

『コロナ禍でも生きる…』

パネルディスカッション：『北東部のCS活動』

下記は参加用アドレス、右下は参加申込 QRコード

<https://us06web.zoom.us/j/86832303212?pwd=d3NVQkNYMONIKOZEaXRONEFuaVVvUT09>

[NVQkNYMONIKOZEaXRONEFuaVVvUT09](https://us06web.zoom.us/j/86832303212?pwd=d3NVQkNYMONIKOZEaXRONEFuaVVvUT09)

第6回 6月25日(土)

20:00~22:00 Zoom

卓話者：検討中

パネルディスカッション：『プランタート講座が「会員増強」の手段になる?』(東京多摩みなみクラブ)

